

ふるさと学習 ぶらりはちまん



音羽南の信号～縄手町～鍵之手町～博労町～永原町～仲屋町
～為心町～魚屋町～新町～旧伴家～小幡町～池田町～北元町
～西別院～ヴォーリス洋館～小幡町市営観光駐車場

11月22日(火) 14時～16時

(13時40分市役所駐車場〈旧病院跡地〉集合)

朝鮮人街道・伝統的建造物群保存地区・本願寺八幡別院

近江八幡市教育委員会

通信使の行列



(先頭)



(国書)



(正使)

- ・ 使節団の人数は4~500人という非常に大規模なものでした。
- ・ 中心は三使とよばれる正使・副使・従事官の三人でした。彼らは将来、朝鮮政府の首脳となるべき立場のひとびとでした。そのほか通訳や所に秀でた人物が通信使の上層部にあたりました。その次が、上官と呼ばれるクラスの人々で、やはり書や美術に秀でた者、医者、道中の記録者で文官と呼ばれる、いわゆる官僚の立場の人々が中心に構成され、一部武官とよばれる今でいう軍隊クラスの上層部が含まれました。その次が次官とよばれる人々で、馬上才と呼ばれる曲乗りののできる騎手や楽隊、料理人、船長などで構成されました。その次が中官です。大半が武官で、楽隊や旗手、荷物持ちなどで構成されました。最後が下官で、護衛兵や船乗りで構成されました。